



だより

No. 292
議会広報委員会

定例会

平成27年第3回定例会は9月15日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■調査期日 7月15日

■調査事項

①みのりっち北竜の運営状況について

②農業政策について

■調査結果

①今後も適正な運営につとめていただきたい。

②指摘事項なし

■調査期日 8月3日

■調査事項

①建設工事の施工状況について

②ひまわりの里の開花状況について

■調査結果

①②指摘事項なし

承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○平成27年度北竜町一般会計補正予算(第2号)について

・既定予算額に1,119千円を追加し、総額を3,128,777千円とする。

発議

○北竜町議会会議規則の一部改正について (原案可決)

選挙

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

・10月31日任期満了に伴い、地方自治法の規定により選挙を行い、次の方が当選されました。

選挙管理委員

中村 尚一氏 (再)

高橋 康詞氏 (再)

石橋 裕司氏 (再)

渡邊 俊成氏 (再)

同補充員

寺垣 和子氏 (再)

鶴飼 孝志氏 (再)

川上 英樹氏 (再)

松田 力氏 (再)

同意

○教育委員会委員の任命について

・9月30日任期満了のため任命に同意

竹林 信幸氏 (再)

○公平委員会委員の選任について

・10月31日任期満了のため任命に同意

渡邊 靖範氏 (再)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

・9月26日前任委員任期満了のため選任に同意

金山 智徳氏 (新)

原案可決

○北海道市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議

について

○北空知学校給食組合の解散について

○北竜町個人情報保護条例の一部改正について

○北竜町手数料条例の一部改正について

○安全で住みよい町づくりに関する条例の一部改正について

○平成27年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について

・既定予算額に128,239千円を追加し、総額を3,257,016千円とする。

○平成27年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算額に5,238千円を追加し、総額を422,046千円とする。

○平成27年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算額に1,811千円を追加し、総額を257,752千円とする。

○平成27年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)について

・既定予算額に321千円を

追加し、総額を133,321千円とする。

○平成27年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)

について

・収益的収入で113千円増額し、総額61,373千円とする。

・資本的支出で133千円増額し、総額9,834千円とする。

認定

○平成26年度北竜町一般会計外6会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水)の歳入歳出決算認定と平成26年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

・決算審査特別委員会(山本剛嗣委員長)を設置して、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

一般質問

5名の議員から5件の一般質問がありました。質問内容については、11月号に掲載予定です。

中央要望

「北空知議会議長連絡協議会中央要望」参加報告

参加議員 佐光・北島

去る8月5日から7日にかけて、北空知議会議長連絡協議会主催による中央要望行動が行われ、1市4町より秩父別町議会本村副議長を団長に議員各2名、事務局2名(秩父別町・北竜町)の計10名が上京しました。

初日は全農パールライス㈱を訪問し、きたそらち・北いぶき両農協産の米の評価・動向及び米の海外輸出の状況等についての報告を受けた後、懇談をしてきました。

6日には、衆議院議員渡辺孝一氏の事務所を起点に道内選出



国会議事堂前で

議員8名に「農業振興及び農業農村の整備」、「地域医療の確保と自治体病院等の経営健全化支援」を主題とした要望書を提出、午後から農林水産省・厚生労働省の各担当職員より要望書に沿った現況の説明等を受けた後、それらについて意見交換を行い、両省庁へ要望書を提出し全行動日程を終了し、7日に帰省しました。

(広報特別委員会 北島)

政務調査

議会道内政務調査

8月に胆振管内安平町、厚真町、壮瞥町において議会政務調査を行った。

■安平町・厚真町

安平町では「赤いひまわり」、「白いひまわり」の導入経過、今後の取り組みについて菊池病院の説明と現地調査を行った。

次に厚真町では、「定住対策」について、少子高齢化や一次産業の停滞による人口減少に歯止めをかけるため、グリーンライフ(大いなる田園の町)での暮らし方と位置付け、都市部からの移住・定住を促進し、推進体制として平成18年に移住希望者の質問・要望に迅速に対応するため、まちづくり推進課にワンストップ窓口というものを設置した。

また、住宅販売促進策(厚真町持ち家住宅建築促進支援助成金)として、住宅新築者に対し150万〜200万円



厚真町にて

の助成金が交付され、子育て支援住宅においては、同居者に小学生以下の扶養家族が1名以上いること等を条件に、扶養する18歳以下の子ども1人につき5000円の控除を受ける事ができる。

他にも首都圏の方を対象に町単独で一元的に(移住定住、就農支援、観光、ふるさと納税等)をPRする「あつま町まるごとフェア」を開催している。

厚真町は、緑豊かな田園と恵まれた交通アクセスを活かし、定住と子育て対策に並々ならぬ姿勢が窺えた。

(広報特別委員会 佐光)

■壮瞥町

壮瞥町では、防災対策と定住対策について視察した。壮瞥町は人口2800人程度で歳入歳出額も北竜町とほぼ同じ規模の自治体であり、今尚活火山の有珠山を抱え、防災に対する意識が非常に高い。有珠山は有史以来9回の噴火を繰り返し、20世紀でも4度噴火している。町では防災マップを作成し噴火の際にどこまで噴石が飛ぶのか、どこに火砕流が発生するのか、どこまで降灰するか詳しく想定し町民に示している。又、噴火時の避難体制も日頃より町民参加の避難訓練を実施し、防災に対する意識は非常に高いと感じた。

次に定住対策では、「子育て応援住宅」を建設し、町外からの子育て世代の移住を促進している。平成26年は6戸の募集に対し12件の申し込みがあり、最終的には町外5件町内1件が決定し、町外から5戸17名の移住がなされた。27年度も4棟を建設し、8戸の募集をする予定で、町民の理解をいただきながら、なる



壮瞥町にて

べく町外からの移住者を対象にしたいとの事である。住宅設計時には現在子育て中の母親によるワークショップを開催し、素案図面を母親目線で意見を聞き、詳細に設計に取り入れられ非常に工夫された使いやすい住宅となっている。家賃も通常の公営住宅家賃ではなく、子供の人数で減額される独自の家賃体制とされている。各議員から沢山の質問、意見交換が行われ非常に有意義な視察になった。

(広報特別委員会 小松)

議員コラム

今回議会道内政務調査で研修を行った壮瞥町での「防災対策」について着目したい。

北竜町にも防災計画はあるが、壮瞥町は有珠山噴火などに対する防災計画を策定しており、住民への家庭内備蓄促進や災害時に適切な対策を講じることでできるよう体制強化に努める姿勢は見習うところが多い。

さらに住民には、防災マップの配付があり、平常時と避難時の心得や災害時の優先的持ち物などが記されている。また、災害を予測してその時に使用する防災電話の施設を庁舎より離れた所に設置しているなど工夫が様々である。

当町では水害が主であるが、竜巻などの災害についても考える必要がある。当町では今年、全戸に非常持出袋が配付された。これを機に前もって

非常時の準備をしておいては良いのではないか。また、万が一のために、「災害用伝言ダイヤル171」も覚えておく必要があると思う。

最近、公道をふらふらとセンターラインを越えて走る車が目立つ。実際体験したのが、交差点で私が右折、相手が直進する方だったのだが、運転者はスマートフォンを操作しており信号が変わっても気づかず、発車するのが遅かったのだ。運転中の携帯機器の使用は事故に繋がるおそれがあるので使用をやめてほしいと心から思う。

(松永 毅)

